

## 日本共産党の町議選政策より

「町議会が何をやっているのかわからぬ」という声が聞かれます。いま全国の多くの議会で、「議会改革」が取り組まれています。

共産党は、これまで「議会のインターネット中継」の実現など議会改革にとりくんできました。今後は、更に行政のチェックを果たすとともに、全国の議会改革に学び、要求を議会で把握・討論し、条例提案により要求を実現する町議会をめざします。

（小学生は社会学習の一環、中学生は1日議員に）

① 町民と議会との定期的な意見交換の場の設置。委員会への傍聴参加を増やす取り組み。

② 子ども議会の開催



（小学生は社会学習の一環、中学生は1日議員に）

③ 議会傍聴に参加しやすくするために、土曜・日曜日の議会開催、議会のインターネット中継の充実。

④ 「議会基本条例」（議会報告会、政策検討会議の開催など、議会運営の基本事項を定めた条例）の制定。

### 日本共産党の町議選政策より

介護保険料が3割も引き上げになりそうです。国保税も高くて大変です。国が負担割合を引き下げてきたためです。

国は「引き上げがいやならサービスを見直し、軽度の人は介護保険からははずす」と言っています。共産党は町に対して、国の福祉切り捨てから町民を守る「防波堤」の役割を果たすよう要求し、次の項目の実現をめざします。

① いざというときに利用できる、町・県・国の福祉サービスの内容を分野別にまとめた一覧表の全世帯配布。

② 特別養護老人ホームなど福祉施設の増設、家族介護者の「つどい」の充実や、オムツ代支給など手厚い支援。

③ 安曇総合病院の産科再開、高校卒業までの医療費無料化。（医療費無料化は250万円の予算増で実現可能）

④ 困ったときに利用しやすい「病後児保育」、街中の公園整備などで移動困難な方々への支援。

⑤ 就学援助の充実、小・中学校の学校徴収金の軽減、中学校卒業までの30人学級の実現。

⑥ 買い物や通院などで移動困難な方々への支援。

⑦ 震災時の建物倒壊予測図の作成、町の安全点検など、行政と住民との協働による防災対策の確立。

## 町議選の焦点 その2

## 町民の暮らし・福祉・健康を守る 安心・安全の町政を

## 町議選の焦点 その1

## 町議会は住民の声を代表する場。 役割を果たせる議会を

### 町議会議員定数 問題を考える

薄井 孝彦



しています。

そのため、議会は住民の代表機関として幅広い意見を議会に反映し、住民の意思を決

定する代表機能を果たすことが必要です。そして、行政の問題や課題を明らかにし、行政をしっかりと監視・統制し、課題解決や住民要求の実現に努めることが必要です。

市町村議会の議員定数の上限は地方自治法91条で定められており、池田町の場合は22が上限です。議員が減ることは確かにそれだけ住民意思を反映しまっていません。このことについて考えてみました。

東北・関東大震災で犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意をお伝えするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

最近、自治会協議会が町議員定数の減を求める陳情書を議会に提出したこともあり、議員定数についての関心が高まっています。このことについて憲法93条により地方自治体の首長と議員は住民の選挙によって選ばれます。このことは、首長と議会は対等の立場でそれぞれ住民に責任を負い、相互の独立性とけん制により均衡をはかり、公正で効率的な地方自治を実現することを意図

されています。

現在、池田町には「議会基本条例」がありません。全国の教訓に学んで、議論していくことが必要です。

一般的に議員定数を減らす理由として、町は自治体の財政支出を少なくすることをあげています。そのことを言うのであれば、議員定数削減ではなく議員報酬の減額を検討するべきです。当然、特別職（町長、教育長）の報酬減額も検討するべきと考えます。

いま、全国の議会では議会の機能を充分に果たすために「議会基本条例」の制定など議会改革に取り組んでいます。議会が住民に出向いて議会報告を行い、住民の声をよく聞き要求を政策化し、条例提案で実現を図ついくことが重要だと考

えます。

市町村議会の議員定数の上限は地方自治法91条で定められており、池田町の場合は22が上限です。議員が減ることは確かにそれだけ住民意思を反映しまっていません。このことについて憲法93条により地方自治体の首長と議員は住民の選挙によって選ばれます。このことは、首長と議会は対等の立場でそれぞれ住民に責任を負い、相互の独立性とけん制により均衡をはかり、公正で効率的な地方自治を実現することを意図

### 私の「原点」



服部 久子

ファンクラブ・ニュース読者を訪問してお話を伺っていますが、子育て支援の話題の中で「子どもは自分たちが生んだのだから、親の責任で育てるべきだ。そんなことに私たちの税金が使われるが使われるのはおかしい」と言わわれたことがあります。食物アレルギー対応の給食実施を要求したときも「数人の子どものために我々の税金が使われるとは納得できない」と言われました。親が子どもを育てることは当然ですが、そのための社会環境を整えることが必要です。

東北・関東地方を襲った大地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。また犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を申し上げます。

これほどの被害をもたらした大災害に本当に言葉もないほどの衝撃を受けています。私たちにできる最大限のことをしてお見舞い申し上げます。また犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を申し上げます。

さて、先日、議会協議会で3月議会に出される予定の議案の説明がありました。その中に私が要求し私も議会で取り上げた「保育料の引き下げ」です。

さて、先日、議会協議会で3月議会に出される予定の議案の説明がありました。その中に私が要求し私も議会で取り上げた「保育料の引き下げ」です。

さて、先日、議会協議会で3月議会に出される予定の議案の説明がありました。その中に私が要求し私も議会で取り上げた「保育料の引き下げ」です。

さて、先日、議会協議会で3月議会に出される予定の議案の説明がありました。その中に私が要求し私も議会で取り上げた「保育料の引き下げ」です。

私は兵庫県の明石市で5人兄弟の末っ子として生まれました。家は貧乏でしたが甘やかされて育ちました。

幼い頃、つくし取りに行つたとき友達は「あそこは『部落』だから走つて行くよ」「朝鮮部落はよけて行こう」と言つていました。そのとき私は「何でもう」と、子ども心に疑問に思つていました。

私の原点は幼い頃の「何でもあります。幸せはみんなで味わつてこそ大きな幸せがあると思います。困っている人が横に居て幸せはありません。

